

報道関係各位

2016年11月17日

NEC ネットズエスアイ株式会社

**NEC ネットズエスアイ、時間・場所にとらわれない効率的な  
働き方の実証実験を実施**  
～テレワークを活用したワークスタイル改革への取り組み～

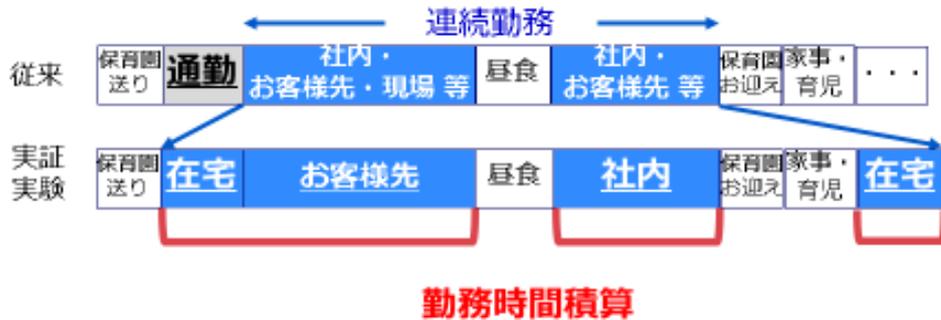
NEC ネットズエスアイ株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役執行役員社長：和田雅夫、東証：1973 NESIC、以下 NEC ネットズエスアイ）は、2017年度から当社人事制度にテレワークを導入予定です。これに先立って、本格導入へ向けた最終検証のため、育児や介護を担う社員だけでなく役員も含めた約100人を対象に、テレワークの実証実験を2017年3月まで実施します。

当社が実施するテレワークは、シンクライアントを利用したセキュアな環境で、ウェブ会議やインスタントメッセージなどを活用してオフィスのメンバーとのコミュニケーションを密にとりながら、自宅やサテライトオフィスで業務を行うものです。

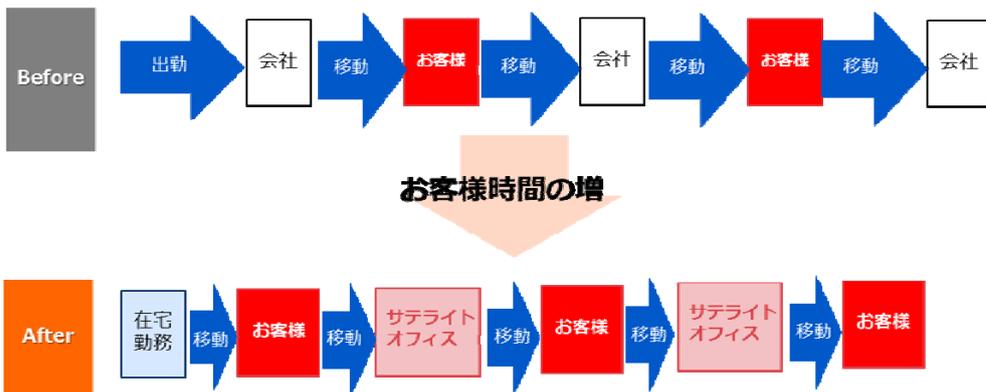
なお、テレワーク導入時に課題となる勤務時間管理の仕組みとして、Skype for Business のプレゼンス機能と連動して勤怠を自動記録する当社開発の在宅勤務管理システム「テレワークウォッチ(R)」(注1)を活用し、オフィス以外の勤務時間を客観的かつ適正に把握・管理します。テレワークウォッチでのきめ細かな時間管理により、業務時間を本人・会社にとって最も効率よくスケジュール設計できるフレキシブルなワークスタイルが可能となります。

今回の実証実験では、育児・介護を担う社員のみならず、幅広い社員が自宅や当社グループ会社を含むサテライトオフィス等を活用して柔軟かつ自律的な働き方を行うことで、社員一人ひとりのワークライフバランスの実現と同時に、能力を最大限に発揮できる働き方を実現し、生産性を向上させることを目指しています。

■ 「テレワークウォッチ」を活用した育児中の在宅勤務例



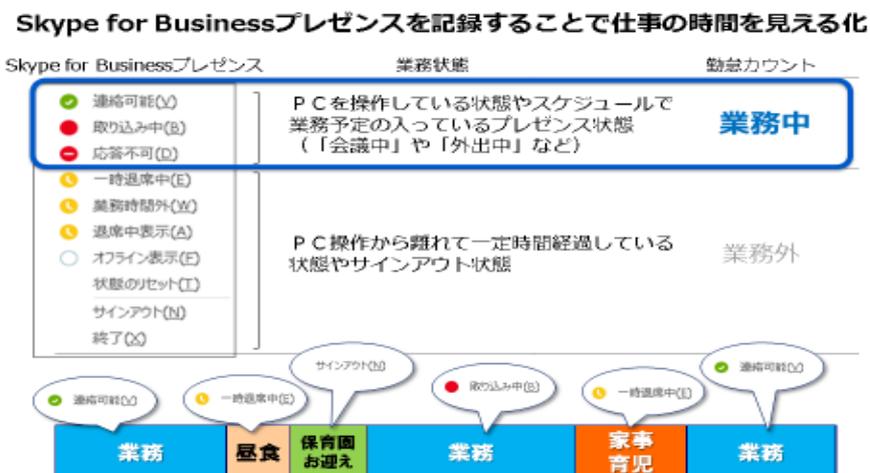
■ 「テレワークウォッチ」を活用したサテライトオフィス勤務例



当社では 2007 年より、ICT とオフィス空間デザインの融合によるワークスタイル改革ソリューション「EmpoweredOffice」(注 2)を提唱し、自社での実践とその成果のお客様へのフィードバックを繰り返しワークスタイル改革にいち早く取り組んでまいりました。テレワークについては、ワークライフバランスを重視した働き方が求められる中で、在宅勤務中の時間管理の難しさから導入を渋るお客様の声を受け、在宅勤務管理システムを開発、2015 年に社内でテレワーク実証実験を行い(注 3)検証しました。その結果、オフィス以外の勤務時間を把握・管理しながらフレキシブルに働くことが可能となったため、テレワークウォッチとしてお客様への提供を開始しました。

NEC ネットズエスアイは、自社でのテレワーク実証実験および制度導入を通してワークスタイル改革を実践し、イノベーションパートナーとしてお客様の経営改革をご支援してまいります。

■ 在宅勤務管理システム「テレワークウォッチ」での勤怠データ取得方法



以上

注 1：テレワークウォッチについてはこちらをご覧ください。

<http://www.nesic.co.jp/solution/eo/telework.html>

注 2：EmpoweredOfficeの詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.nesic.co.jp/solution/eo/>

注 3：第 1 回目の実証実験は 2015 年に実施

[http://www.nesic.co.jp/news/pdf/20150210\\_3.pdf](http://www.nesic.co.jp/news/pdf/20150210_3.pdf)

※「テレワークウォッチ」は NEC ネットズエスアイ株式会社の登録商標です。

その他記載されている会社名、サービス名、商品名は、各社の商標または登録商標です。



明日のコミュニケーションをデザインする

NEC ネットズエスアイは、

お客様の目線に立ったこれからのコミュニケーションをデザインする会社として

お客様の価値向上に取り組んでまいります。

＜本件に関するメディア関係からのお問い合わせ先＞  
CSR コミュニケーション部 コーポレートコミュニケーショングループ  
電話：(03) 6699-7007  
eメールアドレス：[contact@dm.nesic.com](mailto:contact@dm.nesic.com)